



東京ステーションホテル リニューアルオープン 1周年記念

「MARUNOUCHI JAZZ NIGHT “Timeless Elegance”」

～世代を超えて、時代を超えて～

10月3日(木)開催

国の重要文化財・東京駅丸の内駅舎内に位置する東京ステーションホテル(英語名:The Tokyo Station Hotel)／住所:東京都千代田区丸の内 1-9-1)では、リニューアルオープン 1周年を記念して、「MARUNOUCHI JAZZ NIGHT “Timeless Elegance”」(前売り:1名様7,000円/当日:1名様8,000円)をリニューアルオープン日の10月3日(木)に開催いたします。

若手 NO.1フルーティスト Miyaと、ライブハウスの華・渡辺 明日香をボーカルに迎えたジャズナイト。今が旬の実力女性アーティストが競演します。“世代を越えて、時代を超えて”をテーマにベテランベース奏者・伊藤 潮のカルテットがリズムセクションを務め、お贈りする1夜限りのイベントです。

< “時代を超えて” をテーマに演奏されるナンバーの数々 >

昭和初期に国内外で愛された『A 列車で行こう』、昭和中期のモダンジャズの代表曲『ワルツ・フォー・デビィ』、今年のドラマの挿入歌に起用された『テイク・ファイヴ』など、その時代を象徴する名曲を奏でます。出会いと別れ、喜びと悲しみ、多くの人々の想いが交差する東京駅。時代の証人として皆様とともに歩んできた赤レンガ駅舎の中で、想い想いの記憶を呼び起こすひとときをお過ごしいただけます。

< 感謝の気持ちを形にしたスペシャルブッフェ >

野菜やシーフードをふんだんに盛り込んだオードブルの数々や、大海老や帆立貝のソテー、スペシャルメニューとして、シェフが目の前で焼き上げる黒毛和牛サーロインが登場。シャンパンやワイン、オリジナルカクテルなど充実したドリンクや、シェフパティシエ特製デザートもお楽しみいただけます。またホテルの宿泊券など豪華賞品が当たる抽選会を開催します。



東京ステーションホテルは、壮麗に甦った東京駅丸の内駅舎とともに、「この先の100年」を創り上げていくべく、“色褪せることのない記憶”のコンセプトのもと、お客様と共感して記憶に残るひとときを提供してまいります。

< 本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先 >

東京ステーションホテル 広報担当 濱 純子/山本 芳裕

TEL : 03-5220-1915 FAX : 03-5220-0513

MARUNOUCHI JAZZ NIGHT “Timeless Elegance” 開催概要

- 開催期間: 2013年10月3日(木) 18:45 開場/19:15 ジャズライブスタート/21:00 終了
- 会場: 東京ステーションホテル メインバンケット「鳳凰」
- 入場料: 前売り7,000円/当日8,000円(フード&ドリンク含む/税サ込)
- ドレスコード: スマートカジュアル、濃藍色またはシルバーいずれかのワンポイント
- 予約開始: 8月22日(木)
- 予約方法: TEL. 03-5220-1113 (宴会予約/受付時間 10:00-18:00)

<出演者のプロフィール>

Miya (フルート)

日本を代表するジャズフルート奏者として、また美術、写真、踊りなどのコラボレーションなど、ジャンルを超えたアプローチで活動するアーティスト。2004年、音楽大学ジャズコースを卒業と同時にジャズフルート奏者としてプロ活動を開始。2010年に文化庁新進芸術家海外派遣制度派遣生としてロンドンで作曲を学ぶ。ヨーロッパ滞在時に触れた即興演奏に魅せられ、帰国後日本初の即興交響楽団を maresuke とともに立ち上げる。自然や生活の中に根ざした音楽を求めて、野外や寺社仏閣など、特別な土地のエネルギーを感じるままに演奏し、それらを繋いでいくソロプロジェクト「ConnectingPlaces」も勢力的に行っている。CDの代表作は山下洋輔プロデュースの「Miya's Book」など。



渡辺 明日香 (ボーカル)

4歳よりピアノとクラシックの音楽教育を受ける。1998年プロ活動を開始。世良譲、ジミー竹内、前田憲男、日野皓正、ジョージ川口、高橋達也等、数多くのミュージシャンと共演を果たす。2003年高橋達也プロデュースによる国民文化祭ジャズフェスティバルに出演。2004年1stアルバム“Unaffected”をリリースし、HMV ジャズチャートにて1位を獲得。同年12月カナダ・トロントにて行われた日加修好75周年記念事業『Jazz Exchange2004』に招聘され現地のミュージシャンらと共に“Top O' The Senator”に出演。2008年植松良高のアルバム“Dreamy”にゲスト参加。2010年全日本卓球選手権大会にて国歌を独唱。また東京FM衛星デジタルラジオ Music Bird のジャズ番組『オープンセサミ』のパーソナリティを2年半務めた。現在は数々のセッションやレコーディングに参加し、都内及び近郊のライブハウスやホテルを中心に活躍中。



伊藤 潮 率いるカルテット



伊藤 潮 (ベース)



峯野 祐次 (ピアノ)



三浦 肇 (ドラム)



右近 茂 (サクソ)